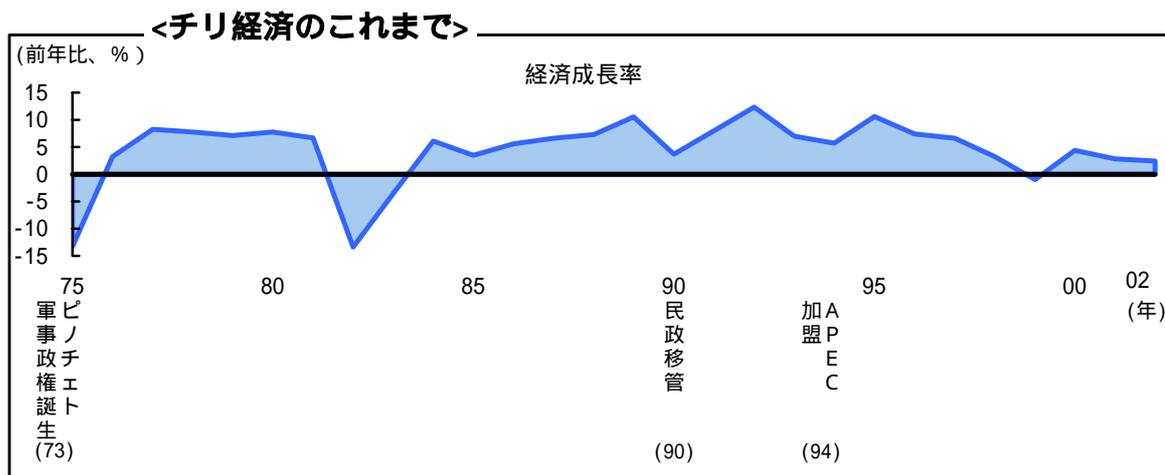


23 チリ

Republic of Chile

<2002年>

人口	1,505万人 (日本の約1/9)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	4,313ドル	為替制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 6.2% 2次産業 37.4% 3次産業 56.4%	通貨	ペソ 1米ドル = 689ペソ
		面積	75.7万km ² (日本の約2倍)



チリの主要経済指標

		90年代 (91～00年)	2001年	2002年	2003年見通し			
					中央銀行	ECLAC	IMF	民間機関
実質GDP	前年比%	6.7	3.1	2.1	3.0～4.0	3.5	3.1	実質GDP
鉱工業生産	同上	3.4	0.7	2.3	-	-	-	平均 3.5
消費者物価	同上	9.4	3.6	2.5	2.5	-	3.3	最大 3.6
失業率	%	7.4	9.2	9.0	-	-	-	最小 3.5
経常収支	億米ドル	17.9	11.9	5.5	7.0	-	-	(全4社)
(GDP比)	%	(2.8)	(1.7)	(0.8)	-	-	-	
財政収支	億米ドル	7.4	-	-	-	-	-	
(GDP比、年度)	%	(1.1)	-	-	-	-	-	
政府債務残高	億米ドル	72.6	-	-	-	-	-	
(GDP比、年度末)	%	(11.4)	-	-	-	-	-	

(出所) チリ中央銀行、チリ国家統計局、IMF "International Financial Statistics"、"Government Finance Statistics"。見通しは、中央銀行(2003年1月)、ECLAC (国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会)は"Balance Preliminar de las Economías de América Latina y el Caribe, 2002"(2002年12月)、IMFは"World Economic Outlook"(2003年4月)。

<2002～2003年の経済>

2002年前半の経済を牽引してきた輸出部門は、年後半には、鉱業部門の低迷により減少した。他方、相次ぐ利下げ効果による自動車販売、住宅販売等の増加により、消費がプラスに転じ、2002年通年の経済成長率は2.1%となった。

2003年には、消費は引き続き堅調であり、輸出の4割を占める銅の需要が供給を上回り、国際価格が上昇する中で、輸出も回復することから、経済成長率は3～4%程度が見込まれる。